



新年のメッセージ

新年明けましておめでとうございます。

第47回衆議院議員選挙では、大変お世話になりました。

皆様の期待に応えることができず、心よりお詫びを申し上げます。

今回の総選挙は、国民の大半が「師走の押しせまる年末に、700億円もの費用をかけて」お選挙に不可解さを感じ、しかも争点のない「消費税増税の延期」を大義?とする、訳がわからない選挙を国民に無理押ししました。反対もしない増税延期に信を問うと言う「本当にわからない」づくしの選挙でした。

安倍政権の真の狙いは、アベノミクスの失敗を覆い隠すための選挙であり、抜き打ち的な選挙で国民の「信任」を得た形式をとり、消費税増税や沖縄基地問題、解釈改憲による集団的自衛権の行使、原発再稼働、労働法緩和、TPPと一気に断行するつもりでした。

まさに、総選挙は大企業や一部富裕層を優遇し、格差・貧困を拡大するアベノミクスをこれ以上続けさせて良いのか、平和や安全、暮らしに関する悪政を許してよいのか、国民を欺き強権政治を進める安倍政権の暴走を許すのかが真に問われた選挙でした。

また、大震災、原発事故から3年10ヶ月が経ち、いまだ福島は復興の途上であり、苦難を強いられています。

国策として進めた原子力政策による事故の責任を顧みず、政治に狂奮する安倍政権に、フクシマの苦しみや葛藤、そして郷里を奪われ4度目の冬を迎えている避難者の心情がわかるでしょうか。

社民党は、不可解な今選挙の大義を批判し、アベノミクスの失敗を国民に訴え、国民を収奪し戦争ができる国を目指す安倍政権の危険な暴走にストップをかけ、これからも勤労国民と共に安倍政権による平和と生活破壊を許さないために、全力で闘う決意です。

平成26年1月吉日

社会民主党福島県連合 代表 小川右善

